

教育研究評議会議事要録

日 時 平成17年 4月12日(火) 13:30~16:10

場 所 事務局大会議室

出席評議員 遠藤(学長・議長), 大関, 中澤, 久慈, 藁科, 佐藤(三), 兼子, 南條, 豊川
矢島, 丹野, 石堂, 星野, 佐藤(敬), 佐々木(甚), 宮田, 荒川, 佐々木(陸)
加藤, 佐々木(大), 吉田, 市川, 片野の各評議員

役員等陪席者 永井監事, 雨森附属図書館長

監査室陪席者 新井室長

事務局陪席者 渡邊総務部長, 三浦総務課長, 千葉財務課長, 松井教務課長, 齋藤入試課長他

配付資料

- 資料1 (事前配付) 国立大学法人弘前大学管理運営規則新旧対照表(案)(当日配布の追加分を含む。)
- 資料2 (事前配付) 弘前大学学則新旧対照表(案)
- 資料3 (事前配付) 弘前大学公開講座講習料に関する規程(案)
- 資料4 (事前配付) 弘前大学農学生命科学部規程新旧対照表(案)
- 資料5 (事前配付) 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程新旧対照表(案)
- 資料5-1 (当日配付) 国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程新旧対照表(案)
- 資料5-2 (当日配付) 弘前大学入学試験八戸試験場設置に関する意見等・各試験場に関するデータ
- 資料6 (当日配付) (様式1)
- 資料7 (当日配付) 平成17年度弘前大学入学者選抜個別学力検査実施結果
- 資料8 (当日配付) 弘前大学理工学部学科構成の変更について
- 資料9 (当日配付) 平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請書(様式)
- 資料10 (当日配付) 平成18年度21世紀教育カリキュラム改正骨子(案)
- 資料11 (当日配付) 平成16年度戦略的経費決定一覧
- 資料12 (当日配付) 平成16年度学内活性化事業実施報告
- 資料13 (当日配付) 平成17年度予算実施計画(案)
- 資料14 (当日配付) 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料15 (当日配付) 教育・学生委員会(第12回)議事要録(案)
- 資料16 (当日配付) 研究・施設マネジメント委員会報告

◎ 議事に先立ち、学長から、平成17年度最初の本評議会開催に当たっての挨拶があり、陪席している雨森道紘新附属図書館長、新評議員の吉田学務部長、市川施設環境部長及び陪席の三浦総務課長の紹介があった。

続いて3月8日開催の教育研究評議会議事要録(案)の確認が行われ、承認された。

審議事項

議題1 学長選考会議委員の選出について

工藤前委員(前学務部長)の後任委員の選出が行われ、投票の結果、吉田学務部長が選出された。

議題2 学内諸規則の一部改正及び制定について

- (1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
渡邊総務部長から、資料1に基づき、学長特別補佐に関する規定を整備すること、連絡調整会議の名称を変更するとともに、設置目的及び組織に関する規定を改めることに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。
- (2) 弘前大学学則の一部改正
渡邊総務部長から、資料2に基づき、公開講座に関して、講習料その他必要な事項を別に定めることに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。
- (3) 弘前大学公開講座講習料に関する規程の制定
渡邊総務部長から、資料3に基づき、学則の公開講座に関する規定の改正に伴う制定理由等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。
- (4) 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正
豊川農学生命科学部長から、資料4に基づき、生物生産科学科及び地域環境科学科における農場実習の単位数の見直し並びにカリキュラムを充実することに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。
- (5) 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程の一部改正
豊川農学生命科学研究科長から、資料5に基づき、応用生命工学専攻及び生物生産科学専攻のカリキュラムを充実することに伴う改正理由等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。
- (6) 国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程の一部改正
渡邊総務部長から、資料5-1に基づき、医学部に附属高度先進医学研究センターを設置するとともに、附属脳神経血管病態研究施設細胞工学部門を廃止したことに伴う改正理由等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。

議題3 弘前大学入学試験八戸試験場について

学長から、入学試験の八戸試験場設置について、八戸地域、高等学校側からの要請、試験場設置の必要性、設置した場合の想定される問題点、経費の問題などについて説明があり、八戸地域の掘り起こしが重要である旨発言があった。また、大関理事から、配付資料（席上配付）の平成16年度入学試験の実績をベースとして算出したデータに基づき、文京町キャンパスの4学部がそれぞれ希望どおり弘前市、八戸市、札幌市に試験場を設置した場合の志願者数、必要試験室数、必要人員などについて説明があった。

続いて意見交換が行われ、概ね次のような意見が出された。

- 八戸試験場を設置した場合、学内の試験場に余裕ができるので、医学部も市内の高校ではなく、同じ文京町キャンパスで実施できるのでは。
- 医学部医学科は、面接室など多くの試験室が必要なため、試験室が確保できるかどうか難しい。
- 理工学部の札幌試験場の設置は、八戸市より効果的と思われる旨の意見も多く、実施してはどうか。
- 八戸試験場の設置は、八戸地域を開拓するという考えであり、志願者増を図りたいと考えている。また、交通の便を考慮すれば多くの志願者が八戸試験場に集中し、弘前試験場が少数となる可能性もある。
- 秋田大学では東京に試験場を設置している。これからは競争の時代であり、定員割

れの危機感もあるので、理工学部では是非札幌試験場を設置したいと考えている。学部ということではなく、大学として設置してほしい。スタッフについても、理工学部では対応できると考えている。

- 弘前大学も特徴があり、八戸市、札幌市に試験場を設置することは、弘前大学をいろいろな面で理解してもらえらると思われるので、八戸市、札幌市にも試験場を設置し実施してみることが大切と考える。
- 動向を見つめながらでは遅いと思われる。ここ1、2年の弘前大学の姿勢が問われている。まず実施してみることである。
- 実施できる学部から実施して行けばよいのではないかと。札幌市試験場は、高校訪問など実施し感触を得て上で実施しようとしていることは理解できるが、八戸試験場については、どの程度の要望等があり、また背景があるのか。アンケートの実施など根拠となるものがあれば盤石と思われる。
- 八戸地域や高等学校では、弘前大学に期待をもっているということではないか。実施してみる価値はあると思われるので、八戸市も札幌市も実施すべきである。
- 八戸市で実施した結果、やめることはできるのか。
- 拡大することはあっても、廃止することは考えていなかった。
- 保健学科は、スタッフ不足で実施は難しいと考えている。就職率が100%であれば、自動的に受験生が増えるのではないかと。弘前大学に入学すれば就職率が100%というのは魅力である。
- 志願者増を図るということであれば、どこに試験場を設置するのが1番かと言えば札幌市と思われる。とことんやるとなれば、北海道である。弘前大学の姿勢を見せることが大切であり、期待も持てる。

意見交換後、学長から、今後各学部と問題点等について個別に協議することとし、八戸試験場、札幌試験場を設置する方向で検討を進めていきたい旨発言があった。

報告事項

報告1 平成17年度年度計画について

学長から、年度計画については、各学部等の意見等を踏まえて取りまとめ、最終的には役員会で承認し、3月31日付けで文部科学省へ提出した旨報告があった。

報告2 学長選考会議報告

兼子学長選考会議議長から、学長候補者選考規程(案)等について、各評議員から「選挙資格者の範囲から事務職員及び医療職員を削ること」など3点の意見が出されたことを踏まえ、学長選考会議で審議した上、最終的には役員会の審議を経て、一部文言を修正の上、同規程(案)等を制定(平成17年4月1日施行)したことの報告があった。

報告3 教員人事について

(1) 教員の採用・昇任

兼子医学部長、佐々木(甚)評議員及び佐々木副病院長から、資料6に基づき、下記教員の採用及び昇任について報告があった。

医学部医学科	楠美 智巳	(同医学科助手)	講師昇任	(17.4.1 付け)
	欠畑 誠治	(附属病院講師)	助教授昇任	(17.4.1 付け)
	中野 高広	(公立野辺地病院医長)	講師採用	(17.4.1 付け)
	大川 浩文	(附属病院助手)	講師昇任	(17.4.1 付け)
医学部保健学科	岩田 学	(同保健学科助教授)	教授昇任	(17.4.1 付け)

附属病院 松井 淳 (同医学科助手) 講師昇任 (17. 4. 1 付け)
坪 敏仁 (同病院講師) 助教授昇任 (17. 4. 1 付け)

報告 4 平成 17 年度弘前大学入学者選抜個別学力検査の実施結果について

大関理事から、資料 7 に基づき、次のとおり実施結果の概要の報告があった。

- 募集人員 1, 350 人 志願者数 5, 987 人 (第 1 段階選抜後)
受験者数 4, 632 人 合格者数 1, 458 人
入学手続修了者数 1, 385 人
- 私費外国人留学生 (定員枠外) 志願者数 26 人 受験者数 18 人
合格者数 10 人 入学手続修了者数 9 人

報告 5 理工学部学科構成の変更について

南條理工学部長から、資料 8 に基づき、次のとおり学科構成変更の概要の報告があった。

- 変更後の学科構成

数理科学科	入学定員	40 人
先端物理学科	入学定員	40 人
物質創成化学科	入学定員	46 人
地球環境学科	入学定員	58 人
電子情報工学科	入学定員	58 人
知能機械工学科	入学定員	58 人
3 年次編入学	入学定員	10 人
- 変更の時期 平成 18 年 4 月 1 日
- 新学科の対象年次 1 年次
- 変更の理由

従来の 5 学科を 6 学科に改称再編することにより、それぞれの学科の教育内容の特色を明確にし、充実した専門基礎の教育を可能とすること。

また、再編により、しっかりとした基礎学力を有し、広い視野を見渡せる能力を備えた人材育成等を可能とする。さらに 21 世紀の企業等社会からの要請である問題解決能力を持つ創造豊かな人材を送り出すこと など。

報告 6 平成 17 年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請書について

矢島 21 世紀教育センター長から、資料 9 に基づき、特色ある大学教育支援プログラムとして「教養教育における成績評価と授業改善の取組」を文部科学省へ申請したことの報告があり、同プログラムの概要の説明があった。

報告 7 平成 18 年度 21 世紀教育カリキュラム改正骨子 (案) について

矢島 21 世紀教育センター長から、資料 10 に基づき、カリキュラム改正の趣旨、導入科目、技能系科目、基礎教育科目、テーマ科目等の改正内容の要点、単位数 (34 - 52)、新カリキュラム策定作業日程など平成 18 年度における 21 世紀教育のカリキュラム改正骨子について報告があった。

また、改正案について、4 月 22 日までに意見等を寄せていただきたい旨発言があった。

関連して学長から、各学部においては、積極的に責任をもって 21 世紀教育に関わってもらいたい旨要請があった。

報告 8 平成 16 年度戦略的経費について

学長から、資料 1 1 に基づき、平成 16 年度における研究課題・配分額が決定されたことの報告があった。

報告 9 平成 16 年度学内活性化事業推進経費について

学長から、資料 1 2 に基づき、平成 16 年度学内活性化事業「平成 16 年度弘前大学在外語学研修」の事業内容、支出額等について報告があった。

報告 10 平成 17 年度予算実施計画について

学長から、資料 1 3 に基づき、大学全体の収入予算、支出予算の状況並びに大学（附属病院を除く。）及び附属病院に係る収入予算、支出予算の状況など平成 17 年度における予算実施計画案の報告があった。

なお、施設費事業対象収入等を含む収入予算総計は、32,837,744 千円（昨年度比 2,725,518 千円増）

報告 11 文部科学省による平成 17 年度大学国際戦略本部強化事業への申請について

中澤理事から、本学から構想組織「弘前大学国際社会医学センター」を文部科学省へ申請したことの報告があった。

報告 12 放射線管理状況報告に際しての放射性同位元素等に関する点検及び報告について

中澤理事から、各 R I 取扱施設の管理区域において、各放射線取扱主任者が R I 等保管数量の帳簿と現物の照合を行うことなど放射性同位元素等に関する点検計画について報告があり、安全管理の徹底の要請があった。

報告 13 社団法人国立大学協会入試委員会報告

大関理事から、3月30日に開催された同入試委員会において、4月1日から「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」が施行されたことに伴い、各大学における対応に違いが出ないようにするため、国大協として6月策定を目途に入試情報の開示に関するガイドラインの見直しの作業を進めており、見直しの対象としては「入試答案の扱い」、「入試成績の扱い」などである旨報告があった。

また、国大協では、平成 20 年度以降、入学者選抜に係る基本方針を定めることとしており、検討資料とするため、4月22日を期限にアンケートを実施する予定である旨報告があった。

なお、アンケートの回答は、学長に一任することとした。

報告 14 委員会報告**(1) 21 世紀教育センター運営委員会**

矢島センター長（同委員会委員長）から、資料 1 4 に基づき、3月22日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 平成 17 年度 4 年生へのアンケート
- 平成 17 年度 21 世紀教育授業運営・担当評価

(2) 教育・学生委員会

大関理事（同委員会委員長）から、資料 1 5 に基づき、3月25日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 指導教員の手引き（クラス担任マニュアル）
- 論文、レポート等における不正引用への対応
- 大学院奨学金返還免除推薦者選考

(3) 研究・施設マネジメント委員会

中澤理事（同委員会委員長）から、資料16に基づき、4月12日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 競争的資金等に関する個人調書の作成
- 平成17年度大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実践支援）の学内応募状況
- 平成17年度弘前大学内地研究員の応募
- 弘前大学知的財産セミナーの開催 ほか

報告15 その他

(1) 東京事務所広告塔の設置について

学長から、弘前大学東京事務所の広告塔を3月下旬に東京駅八重洲口内に設置したことの報告があった。

(2) 知的財産セミナーの開催について

学長から、弘前大学知的財産セミナーが4月22日（金）13時から創立50周年記念会館みちのくホールで開催される旨報告があり、多数参加されるよう要請があった。

(3) 平成16年度内部監査結果について

学長から、平成16年度内部監査の結果報告を受け、指摘事項等に対する対応策等を各理事及び病院長の下で取りまとめることとした旨報告があった。

(4) 会計実地検査の実施について

学長から、会計検査院による会計実地検査が5月23日（月）から5月26日（木）までの期間で実施される旨報告があり、遺漏のないよう要請があった。

(5) 雨森附属図書館長から、附属図書館内に「太宰治」、「白神山地」「りんご」及び「桜」の4つのコーナーを設置したこと、またジェームス・マシュー・バリー（「ピーターパン」著者）コレクションコーナーの設置を予定していることの報告があった。

(6) 次回以降の開催予定日について

次のとおり予定することとした。

5月10日（火）13：30～

6月14日（火）13：30～